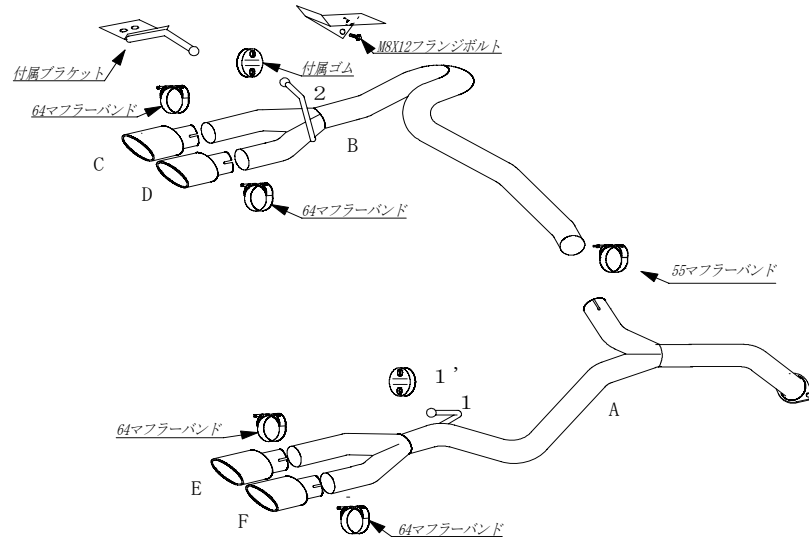


製品名称	製品番号	車名	車両型式	年式	エンジン型式	構成部品及び付属品リスト																										
M'z SPEED	MZ-34	トヨタ ランドクルーザープラド	CBA-TRJ150W	H21/9~	2TR-FE	<table border="1"> <tr><td>本体(A)</td><td>1</td></tr> <tr><td>本体(B)</td><td>1</td></tr> <tr><td>本体(C)</td><td>1</td></tr> <tr><td>本体(D)</td><td>1</td></tr> <tr><td>本体(E)</td><td>1</td></tr> <tr><td>本体(F)</td><td>1</td></tr> <tr><td>本取扱説明書</td><td>1</td></tr> <tr><td>付属 ゴム</td><td>1</td></tr> <tr><td>付属 遮熱板</td><td>1</td></tr> <tr><td>付属 ブラケット</td><td>1</td></tr> <tr><td>フランジボルト(M8X12)</td><td>1</td></tr> <tr><td>64マフラーバンド</td><td>4</td></tr> <tr><td>55マフラーバンド</td><td>1</td></tr> </table>	本体(A)	1	本体(B)	1	本体(C)	1	本体(D)	1	本体(E)	1	本体(F)	1	本取扱説明書	1	付属 ゴム	1	付属 遮熱板	1	付属 ブラケット	1	フランジボルト(M8X12)	1	64マフラーバンド	4	55マフラーバンド	1
本体(A)	1																															
本体(B)	1																															
本体(C)	1																															
本体(D)	1																															
本体(E)	1																															
本体(F)	1																															
本取扱説明書	1																															
付属 ゴム	1																															
付属 遮熱板	1																															
付属 ブラケット	1																															
フランジボルト(M8X12)	1																															
64マフラーバンド	4																															
55マフラーバンド	1																															



遮熱板取付け図

最低必要工具

メガネレンチ	12mm14mm
ソケットレンチ	12mm14mm
トルクレンチ	

組付作業手順

警告!

作業中の怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。
【(1)ご使用前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。
※ 装着作業は必ず2名以上で行なってください。

- 「本体(A)の仮組付け」
最初にスペアタイヤを取外して下さい。
本体(A)の取付けブラケット(1)を純正吊下げラバーステア(1')にしっかりと差し込んで下さい。
次に、純正の後側フランジと本体のフランジの間に純正リングガスケットを挟んで、本体(A)側から純正ボルトスプリングを再使用して仮締付けて下さい。
- 「本体(B)の仮組付け」
最初に、純正牽引フックを取外し付属ブラケットを挟み再度締付けて下さい。
次に付属ブラケットに付属ゴムを差し込んで下さい。(※純正ボルト再使用して下さい。)
※遮熱板の取付け! (写真を参考に)
左側フロアへの燃料パイプ及び配管を保護する為に必ず取付けして下さい。

フレームにM8の穴2個を利用し遮熱板をM8X12のボルトで取付けて下さい。
次に、本体(B)の取付けブラケット(2)を付属ゴムにしっかりと差し込んで下さい。
次に本体(A)と本体(B)をさしこみ、付属マフラーバンド(55)でとめてください。
- 「本体(C)(D)(E)(F)の仮組付け」
本体(C)(D)(E)(F)を本体(A)(B)の各パイプ先端に差込み、リアバンパーの先端から出ないように調整して、マフラーバンド(64)で仮締付けて下さい。

- 「全体の本組付け」
本体(A)(B)(C)(D)(E)(F)の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及びフランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。
(付属ボルト類締め付けトルク400~500kgf・cm // 純正ボルトの締め付けトルクはメーカー指定通りして下さい。)

テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。
不具合がある場合は最初から締め直して下さい。
クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーなどが熱で溶けたりすることがあります。
最後に触媒の遮熱板等を外している場合は元通りして下さい。
(純正部品の締め付けトルクはメーカー指定通りして下さい。)

- 「装着状態の確認」
全体の仮組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。
エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。
運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検して下さい。
異常があれば、最初から装着をやり直して下さい。
《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》
以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

お願い!

- ※ 装着後200~300km走行した後もう一度各部のボルト類の増し締めと、各フランジ間のガス漏れの点検をして下さい。
- ※ マフラー本体は、1人で持上げる危険です。必ず2名以上で作業してください。